科目名	成人急性期看護学臨地教育実習Ⅱ Acute Care Adult Nursing Educational Practice Ⅱ	担当教員 (研究室番号)	長谷川　智之（302）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	2年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数 (時間)	3(90)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	臨地教育実習Ⅰと比較して学年間の学生の知識・技術の修得状況の違いを理解し、臨地実習指導者との実習調整などを通じて、その役割を理解し、臨床看護師の立場から看護学生指導や新人教育について省察する。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。
	関連するDP	４．看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。
到達目標	１．同行する実習の教育目的・教育目標等について臨地指導実習Ⅰとの比較によりカリキュラム上の位置づけを理解することができる。 ２．同行する実習が実施される実習病棟の概要を把握することができる。 ３．実習環境の調整のあり方や臨地実習指導者との役割の相違を理解することができる。 ４．学部学生への教育的活動を主体的に実施し、成績評価についても考えることができる。 ５．臨地実習指導者との調整や学部学生への指導を振り返り、臨地実習指導のあり方を考えることができる。	

成績評価方法 (基準)	実習内容、臨地実習指導記録簿、臨地教育実習報告書、学生への対応等を総合的に評価する。
教科書	必要時、紹介する。
参考書等	必要時、紹介する。
受講者へのメッセージ	学部学生への実習指導を主体的に実施する中で、臨地で指導する看護専門職の役割について考えましょう。
備考	Covid-19の感染拡大の状況によっては、遠隔授業または課題学習となる場合がある。

学　習　内　容

【実習期間】
　３週間を臨地での教育実習として行う。
　同行する実習は、原則として本学学部４年生が履修する「総合実習（急性領域）」とする。学部生は２つの医療機関に分かれて実習をするが、同行する医療機関は大学院生の居住地等から決定する。

【事前準備】
　学部生用の学生便覧およびシラバスから同行する実習について学習する。また、担当教員が事前に実習病棟の臨地実習指導者との打ち合わせや、教員向けの病棟オリエンテーションを受けるので、これにも同行する。
　前年度に学部生を対象とした総合実習オリエンテーションにも参加し、本科目担当教員や同行する実習の担当教員などの説明も受けながら、自身が同行する実習についての理解を深める。

【臨地指導実習】
　３週にわたり、本科目担当教員や同行する実習の担当教員からの助言を受けながら、学部学生への指導（実習初日の学生学生誘導、受け持ち患者の決定時の助言、患者ケアでの学生への指導・監督、実習記録や口頭による学生への指導、臨地実習指導者との調整、カンファレンスでの助言等）を実施する。学部生の学内演習日である水曜日には、本科目担当教員に実習状況や学びを報告し、教員から助言や指導をうける。
　３週目最終日には、これまでの学生の実習状況や記録類から学生個々のルーブリック評価表を仮に採点し、実習の担当教員から助言を受ける（学部生の成績評価は、最終的に実習の担当教員が決定する）。

【教育指導実践に関する記録類】
　臨地教育実習での学びや教育的実践については、日々「臨地実習指導記録簿」に記載する。また、実習が終了した翌週に「臨地教育実習報告書」として本実習の総括を記載し、担当教員に提出する。